



真紅に
好き放題しちゃおう

いい匂いが
頬を撫でてる

目の前には
真紅の寝顔

ふたり分の吐息が
部屋の空気を暖
めるようだった

できればこの朝の
優しさを壊したくない

残念だが

今日は必ず充実
や忙しくなる

悠馬



悠馬？

え？

まさかまだ
覚えてないのか？



はー！

はー！



ヒュルル



悠馬
そこは



でもこちらは準備でき
たようだなあ



真紅
おマンコに
入れさせて！

え!?

おお!!

中の熱量は肉壁
から直接につた
わってくる！

起きるぞ
真紅！

膣内の温度すっごい！

ヒュルル
ヒュルル
ヒュルル

気持ち

真紅の中

朝っぱらから
こんなには
熱いのは

腰が止まらな

そんな
こと
ないよ

俺の肉棒を
歓迎してるの？

かなり抵抗的な
真紅のはずなのに

下はじっかり肉棒を
噛みしめてる

本当にかわいいやつ

ああ…
ヤバ…

う…気持ちいいなあ
スッキリ

スッキリ

そうだ

俺は一日中を
かかって真紅
をかかわいがるのさ

悠馬の…

バカ

最低だ
朝っぱらから
こんなことを
するなんて

いい単語が
混ぜ込んだ？

アホ 変態 最悪
好き 鬼畜

ロリコン バカ

素敵な一日は
始まったばかりだ

補償として
朝飯は
ホットケーキを
作ってやるよ





まだホット
ケーキ?



悠馬
あれ見で



悠馬
こちこち

意外と慣れた?!



伸びたよ

悠ほら
馬



もうお嫁さん
にはなれない!!

落ち着け
あなたの夫は俺だ



あれ?

真紅への
いたずらも
面白いことを
収穫した

想像とちよっと
違うけれど



お姉ちゃん
は尻尾が
ついでるの?



平ラッ

ん…



ちよつと
疲れたね

それはこち
のセリフだ

まあ
まあ
じゃあ真紅は
お風呂でも
入る？



コチ
コチ
コチ
ふん



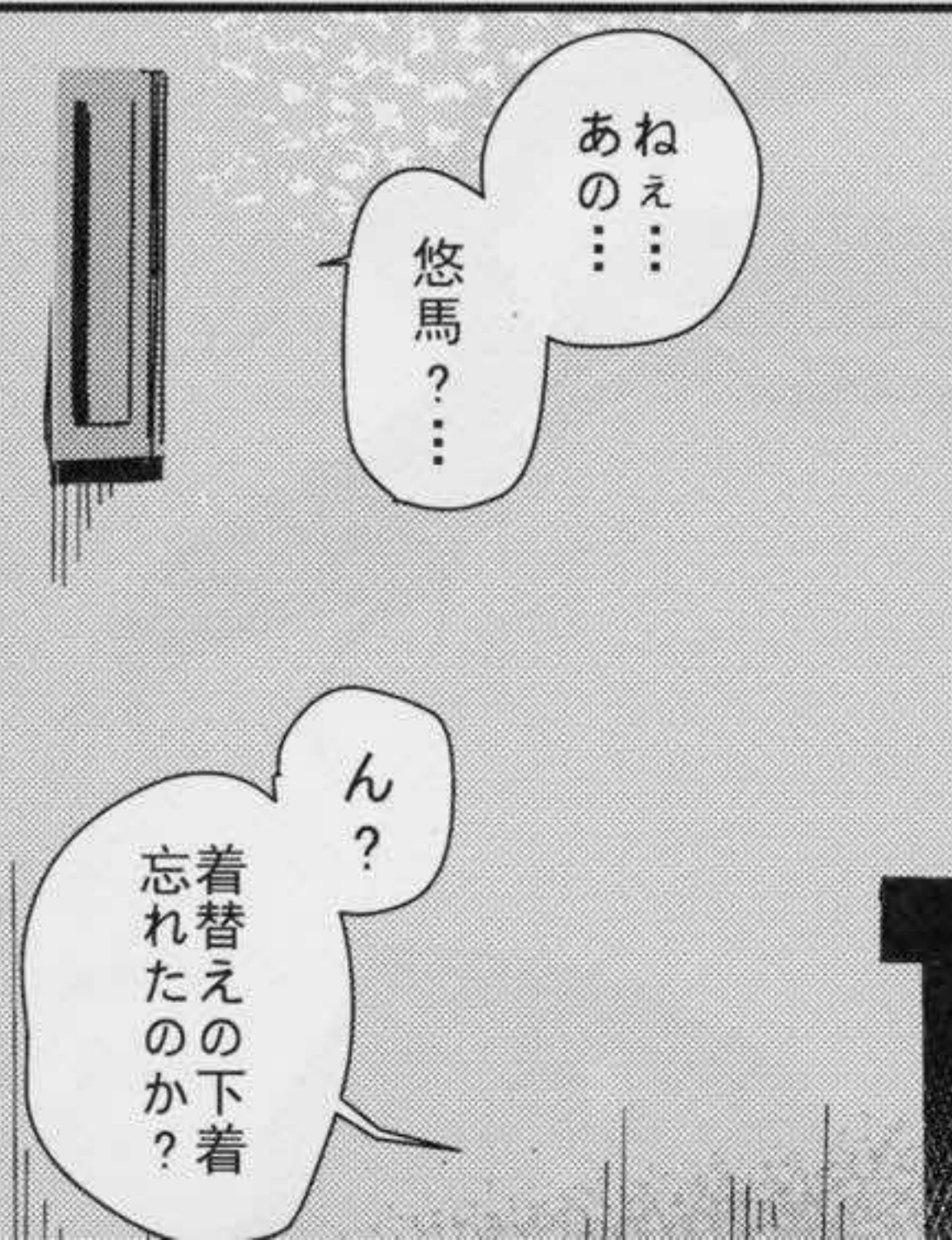
コチ
コチ



コチ
コチ



…



あねえ…
悠馬？…

ん？
着替えの下着
忘れたのか？



なんだよ

悠馬は一緒に
入りたく
ないのかよ

!!
よろこんで!

早く気づ
いてよ
バカ

予想通りだ
かわいい

真紅は
まだが

来た!

アイ

来た!

もう

朝からずっと
悠馬は
イジワルして

おお!!

こ...これわ!!

ヌヌ...

特別に俺にこんな
プレゼントを!

私だって
負けないもう

ニセ鏡ちゃんから
もらった好きな
部位を全部晒し
出すぞ! スーツ

防水材質
だからね
大胆にやれw



真紅!!!

まずお風呂して!



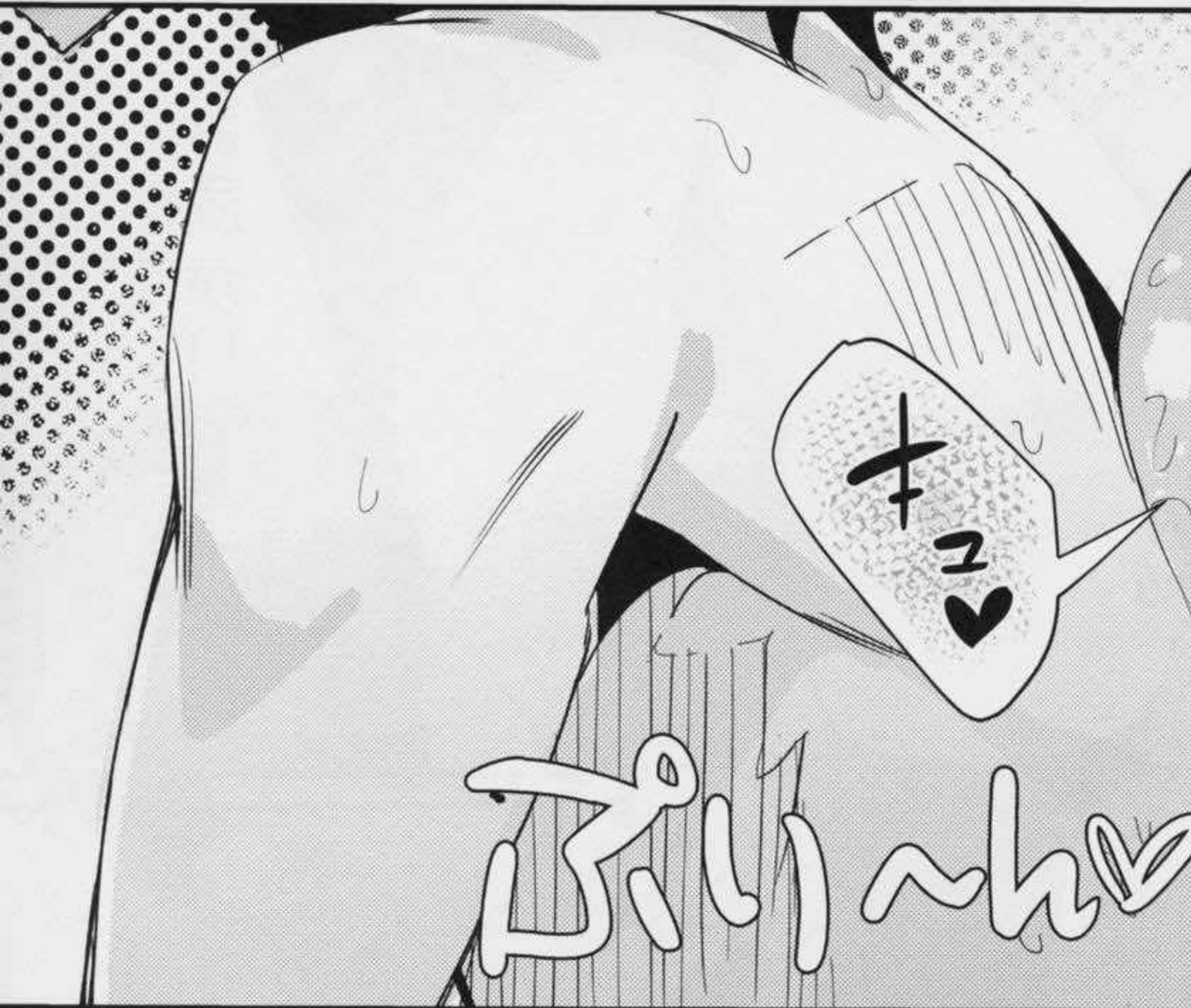
えへへっ
悠馬の好みは全部知ってるよ

むしろ最高だぜ!!

そんなことはない事!



どうして黙ってたのへんかな悠馬...



ふい〜ん



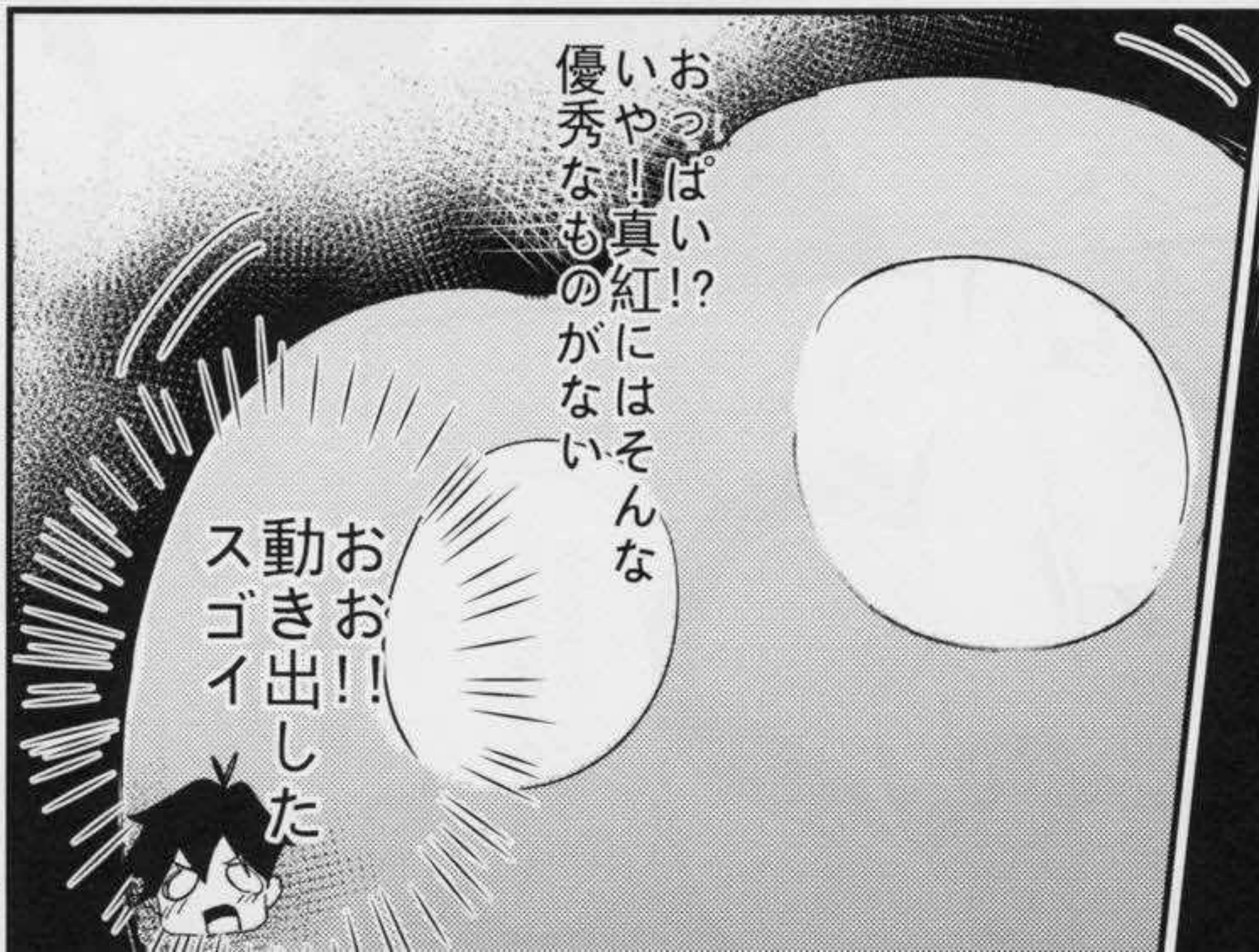
お...お

まだか

ま...
まずは悠馬の背中を流す



つまり...



おっ! 面白い!?
いや! 真紅にはそんな優秀なものがない

おお!!
動き出した
スゴイ

その触感は!!

お尻か!!

必死に擦ってる

もつとすごいものを貼った

自信がない

でも悠馬に失望したくない

まさか悠馬の期待を外れちゃったの…

私のおっぱいはちっちゃいので気持ちよく悠馬の背中を擦ることはできない

だからせめてこんなことで悠馬を満足させる

なるほど

こんな結論をだすのはさすがに真紅らしいな

柔らかすぎるんだろう



いやだ
悠馬なんて
知らない

このような

いや
H何でい

普段なら多分
こう言われる...

※脳内

真紅
次は正面も...

そんなこと
はないよ

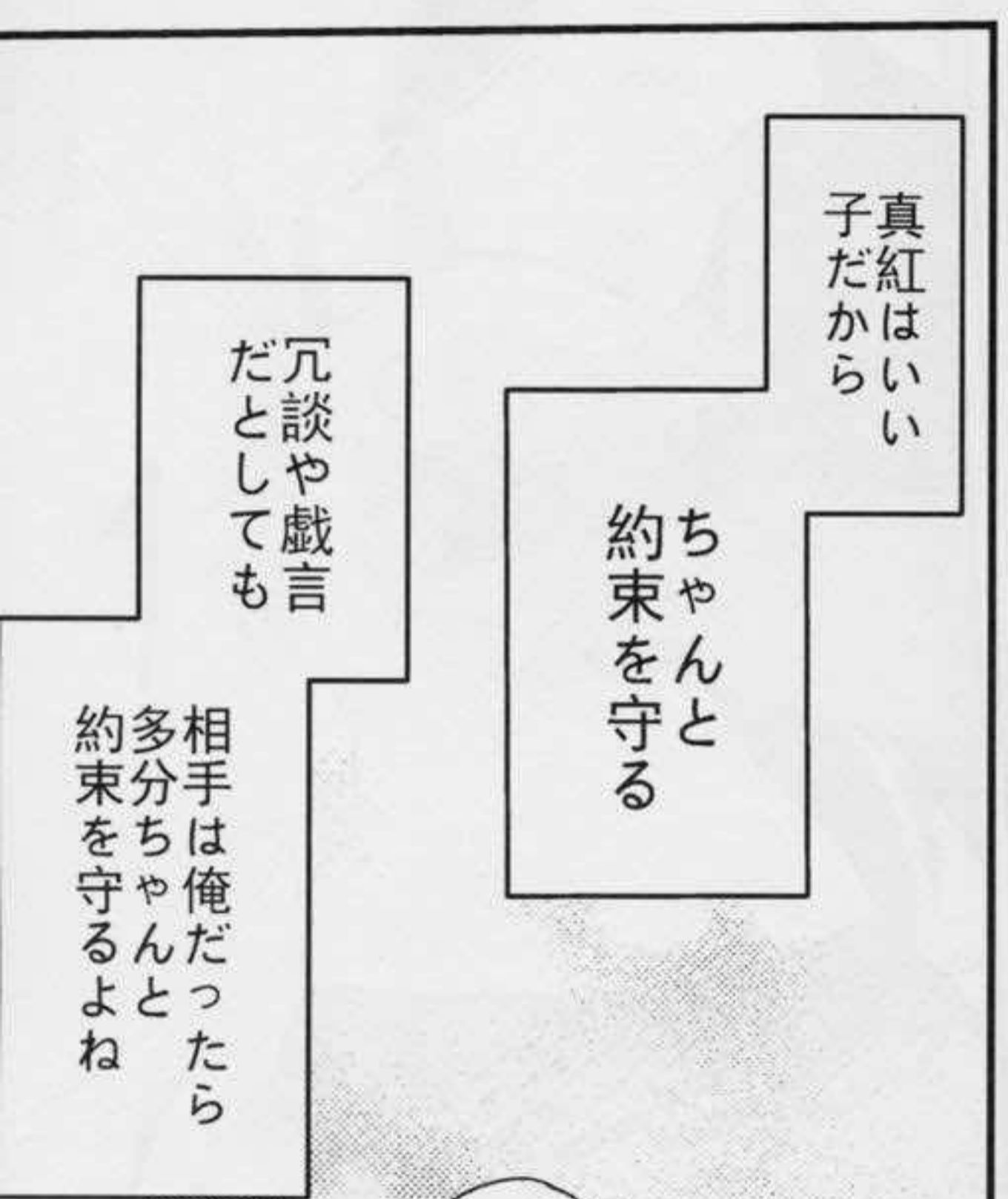


今日はしっ
かり約束を
守てるのか...



真...真紅?

今更に
照れてる?!



真紅はいい
子だから

ちゃんと
約束を守る

冗談や戯言
だとしても

相手は俺だったら
多分ちゃんと
約束を守るよね



自分が誘っ
たのに...

こいつマジ
かわいくねあ!

う...



同時に

彼女は
すっぽかすや
嘘を怖がっ

俺の
せいだ

かつてくだらない
理由で彼女を
置いて行った

真紅との大事
な約束も破って

彼女の記憶に
想像できない
ほどの寂しさと
苦しみを与えた



え?



悠馬?



昨日

事のせいでふ
原稿はまた躓いた
長い間に進展
がない

ついに連載
停止の電話が

仕事を失った
不安だけ
じゃない

自責と無力感
が深く纏ってた



悠馬

ねえ 悠馬

悠馬

大丈夫だよ

真紅？

悠馬なら
きっと大丈夫

私はね…
悠馬が好き

寄り添って
何もしない

ただ抱き
合ってるだけ

あと…キスとか
も好きかも

なんと
いう
落ち
着か
せる

真紅…

真紅

柔らか
かくて

温かい
体温
を伴っ
融けて
しまっ
う

今までこの子から
どれだけの救いを
もらっただけの
数え切れない

ねえ

真紅

ん…

たとえ俺のような
罪人もほっこり
として彼女と
幸せに過ごしたい



二人の舌はただ
ひたすらに相手
のところへ纏い合う



すべての重荷
を外したような



真紅
もっとこの子を
抱きしめたい...



心が通じるっていうのは
こんなことかな...



一日だけ
でいい

真紅をすき放題
やって欲しい



ちよっとびっ
くりしたか？

そうねいきなり
こんな変な
要求を出すのは



あっ
視線が
そらした

Pesce Lu



い...い...いよ

あまり...
ひどいこと
しないなら...

でも
うまく
いったら



何度も
何度も

俺は
十分に

この子との
愛を確か
めるんだか

めい
ちゅ♡



悠馬

焦らな
いで…

ごめん…
痛かった？

ち…
ちがうよ

私だって…
もっと確実に
悠馬のモノを
感じたいの

ああ！
真紅！

髪はいい匂いがする

マンヨの
中にも熱い

はー

真紅はいつも
照れてHのこと
も得意じゃない

はあ…
はあ…





私も悠馬が
好き

心の底から
とって
とって
愛してる



私も



悠馬
♡

そうだ



言葉には
魔法がある

伝わったら

恥ずかしい真紅は
きつとこう素直
に答えてくる

そして徐々に
心を開く

俺に愛を語る

あーあー...

あーあー♡

あーあー♡

あーあー♡

そして愛は
一度溢れ
出したら

もう止め
られない

私が悠馬に気持ち
よくしてあげる♡

悠馬♡

真紅に押し
倒れた！

幼い体は体重
と伴って押しでくる

いいな真紅

こんな飾りのない
俺に求めている
甘えてるキミ
本当に素敵なあ！

悠馬：

好き♡

先からもう気持ちよくしてあげる♡

今日はこんなに
出したのに

ここは全然休憩する
気分がないようだね

もっとなほい

そして真紅は俺の
肉棒を奉仕続けてた

俺を慰めるために
俺を気持ちよくするために

「この鏡ちゃんから
もらっ」たバニー
「ガール」スーツ

来て

悠馬の好きに
してください♡

真紅の
顔射顔!

俺を射精させるために

突き込むたびに
真紅は可愛い声を出す

粘膜からの灼熱
が肉棒を包み込んでる

もう腰を揺らす以外
何もできないんだ

肉棒が爆裂しまう

悠馬?!

焦らな
いで

私は逃げない
から…ちよっ

このロリマシンの中
でもっと挿じたい

快感は頭から足先
まで伸びてしまう

最後にはやっぱり幼妻
の真紅と全裸性交！

来て

真紅の体は
とてもきれいだ

どんな部位も
ふわふわで
まるでホットケーキ

この子は本当に
だにキスが好き

それでは
真紅に待た
せないだな

悠馬？

まだ……
入れないの？

お腹なでなで

もう待ちきれ
ないのか

真紅はもうえっちな
子になっちゃったね

う……

う……お腹がいっ
ぱいになっただけ
ばっか欲しくなっ
たのになあ



もう一度一緒に
イキましよう
悠馬 ♡

おお!!

真紅!!
真紅!!

真紅の胴体は目に尽くす

悠馬!!

あぁ♡

カッ!!

俺の肉棒は
一生こんな肉体を
独占できる

考えるだけで脳は
幸せに満ちて死んじゃう

ふわふわですやすやの白肌



こんな
のは...

ちよつぱり
立てた乳首
少し浮かんで
いる肋骨

好き

あぁ♡

両手で完全に
把握できる腰

ぱん

猛衝によって揺
れる足

ぱん



悠馬



この子と何度
もやっても

飽きはしない



あと灼熱の
ロリマンコ

全部素敵すぎる

ぱん





悠馬…

好き…♡
この後
真紅は幸せそうに寝ていた…



今はそんな
気分か…
バカ悠馬



ちゅ



えっ!?!
ちゅっ…今日は無理
やりさせないわよ!!
はじゃあかっばり
が欲しいの真紅



起きたか
真紅
おはよう

また昨日のこと
考えてるのか



翌日



やあ
昨日の真紅は
最高だったわ



まさか真紅はこんな
エロイ一面を
持つてるなんて思
わなかったよ
最後まで俺を抱い
スゴイ衣装着たりH
なことしたりまだ
エロ可愛いセリフ
言ってたなんで…

やめろ!
悠馬やめ…
やめろ!!

◆END◆

あとがき

今回の本を購入した皆さんありがとう
&初めまして。
竹取細工です。
大変お疲れしてやっとこの本を完成した
とにかく。

真紅は本当にかわいいなあ！

色とりどりの世界をプレイしたときからも
うすっかりこの子に惚れた
完全に「おおお！なんだこの子！可愛くて
死ぬ！」の気持ちで最後までプレイした
そして一気に二つのFDをクリアした。
気がついたらもう完全に真紅を描きつづけた。
このマンガも成り行きに描き出したんだ
真紅ってすごい。

描きたいのはまだいろいろある、真紅に意
地悪したい、まだ真紅をもっと可愛がって
みたい。実は自分は結構真紅のスカート私
服と赤枠の眼鏡姿を気に入って
残念ながら紙幅が足りないので、掛け絵に
出たバニーガールplayも二ページに圧縮す
るしかない、最後にこんな雑炊みたいなも
のになっちまった、私は本当に取捨選択が
苦手だ。

もしこのマンガは真紅の可愛さを少し感じ
させてもらったら。
そしてHな気持ちを少しだけ緩ませたら
それは何よりです。

「お前の明日が、お前が思っているよりも
ずっと、ずっと……素敵な一日になるこ
とを祈ってるよ」

◆Pixiv id=4798458

◆微博

weibo.com/TheTokitori



◆Twitter

twitter.com/TaketoriZaiku



Fancy Frontier32/コミックマーケット94

- ◆原作
いろとりどりのセカイ
- ◆サークル
TOHOORIN
- ◆HP
TOHOORIN.COM
- ◆Facebook
TOHOORIN
- ◆Twitter
TOHOORIN_
- ◆印刷
大陽出版株式會社



TAKETORI ZAIKU

